

## 簡単デザート「ふるふる」を新発売

横浜のブランド梨「浜なし」の規格外品等を生かしたJA横浜のオリジナル商品です！

JA横浜は、牛乳に混ぜるだけで簡単に作れるデザート「ふるふる」を、令和5年10月3日（火）より、直営する「ハマッ子」直売所12店舗で販売を始めます。

「ふるふる」は当JAのオリジナル商品で、フレーバーは「浜なし」と「横浜メロン」の2種類。いずれも原材料に横浜市内産の果実を使った地産地消の商品です。SDGsの実践として、フードロス削減に向けて、「みつ症」が発生した梨や規格外の梨を有効活用。メロンは借入農地でJA職員が生産したものです。

簡単に作れますので、子どもから大人までご家族そろってお楽しみいただけます。お手軽な横浜土産としてもぴったりです。



### ◆商品情報◆

- 商品名 : ふるふる（デザートベース）
- フレーバー : 2種類（浜なし/横浜メロン）
- 内容量 : 150g（3人前）
- 価格 : 290円（税込）
- 販売店舗 : JA横浜「ハマッ子」直売所12店舗（本郷店/みなみ店/瀬谷店/都筑中川店/たまプラーザ店/中里店/南万騎が原店/四季菜館/メルカートきた店/メルカートいそご店/メルカートつおか店/メルカートかながわ店）
- 発売日 : 令和5年10月3日（火）



ふるふる パッケージ（浜なし/横浜メロン）

### 【おいしい作り方】

- ①ボウルに「ふるふる」1袋を入れます。
- ②冷えた牛乳150mlを加えます。
- ③スプーンでとろみがつくまで大きく混ぜます。
- ④冷蔵庫で30分冷やして出来上がり！

裏面あり

## ●規格外等の梨を活用

「ふるふる」には「浜なし」のピューレ（10%）を使用しています。

「浜なし」は品種名ではなく、横浜市内で生産される梨の総称。2015年に商標登録し、JA横浜果樹部に所属し一定の基準を守って生産する農家だけが使える名称となりました。特長ある神奈川県産の農畜産物を登録する「かながわブランド」にも選ばれています。農家を悩ますのが、梨の生理障害のひとつで、天候不順で発症する「みつ症」。青果での販売には向かず、廃棄されることもありました。そこで、みつ症が発生した梨や規格外の梨を当JAが集荷して買い取り、JA全農かながわに委託してピューレに加工。「ふるふる」の他、オリジナル商品のレトルトカレー「いとしのやるJA（じゃ）ん横浜カレー」や菓子メーカーとのコラボ商品に活用し、食品ロス削減にも寄与しています。



ついで、天候不順で発症する「みつ症」。青果での販売には向かず、廃棄されることもありました。そこで、みつ症が発生した梨や規格外の梨を当JAが集荷して買い取り、JA全農かながわに委託してピューレに加工。「ふるふる」の他、オリジナル商品のレトルトカレー「いとしのやるJA（じゃ）ん横浜カレー」や菓子メーカーとのコラボ商品に活用し、食品ロス削減にも寄与しています。

## ●JAが借入農地でメロン生産

「ふるふる」には「横浜メロン」の果汁（10%）を使用しています。

「横浜メロン」は品種名ではなく、当JAの「農業経営事業」として生産するメロンのこと。農協法改正で一般法人が農業経営を行えるようになり、当JAは2020年に神奈川県承認を得て開始。農地を借り受け、JA組合員の農業経営と競合しないよう、作物・時期等を考慮してJA職員が栽培します。

農業経営事業は、「農業経営モデルの構築と担い手への承継」を事業方針として、高収益が見込める作物の栽培モデルをJAが実証し、将来的には新たな担い手に承継することを目指す取り組みです。



## ●開発担当部署のコメント

総務部総務課および経営企画本部事業企画室が開発に携わりました。

総務課「年1回開く『組合員感謝の集い』（歌謡ショー）の来場者へ、記念としてJAらしい商品を差し上げたいという思いが開発のきっかけです。梨をはじめ、市内でメロンが生産されていることも知っていただけ、横浜の農業を応援していただければ幸いです」

事業企画室「浜なしは果肉が入っているので、素材の味がそのまま楽しめます。横浜メロンは飽きのこない甘さを出すのに苦労しました。火を使うことなく簡単に作れますので、ぜひお子さんと一緒にお楽しみください」

## ◇横浜農業協同組合 組織概要 \*令和5年3月31日現在

創立 : 2003年4月  
本店所在地 : 神奈川県横浜市旭区二俣川1-6-21  
代表者 : 代表理事組合長 柳下 健一（やなぎした けんいち）  
出資金 : 116億円  
組合員数 : 71,820人（正組合員11,060人、准組合員60,760人）  
職員数 : 1,337人  
ホームページ : <https://ja-yokohama.or.jp>

みんながHAPPY!  
やるJAの横浜!

共有ビジョン

総合3ヵ年計画を遂行するための心構えや姿勢として、組合員・地域・役職員の「みんながHAPPYになれるJAを本気で作りたい!」という共通した思いを表現し掲げるものです。

本件に関するお問い合わせ先

JA横浜 組織部広報課 林（はやし） TEL045-532-8410